

# 強者の戦略

2018年度 東大地理 第3問〔問題編〕

東大では頻出の「日本の人口と都市」を扱った問題です。2014年度以来久しぶりに、いくつかの小問にまたがる語群が登場しました。限られた時間の中で、適切な用語を選んでいくのは少し難しいと思いますが、今の力でどれだけ太刀打ちできるのか、この1週間で頑張ってみてください。

## 【2018年度 東京大学 文科 第3問】

人口と都市に関する以下の設問A～Cに答えなさい。解答は、解答用紙の(ハ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問A 国勢調査の結果によると、2010年～15年の5年間で人口が増加したのは8都県のみであった。図3-1は、そのうちの4つの都県について、1985年以降の5年毎の人口増減率を示している。また、図3-2は、2010年～15年の都道府県別の人口増減率を示している。これらの図をみて、以下の問いに答えなさい。

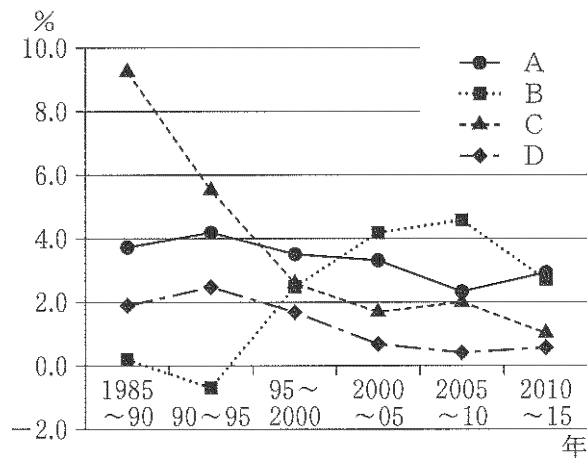


図3-1

国勢調査による。

# 強者の戦略

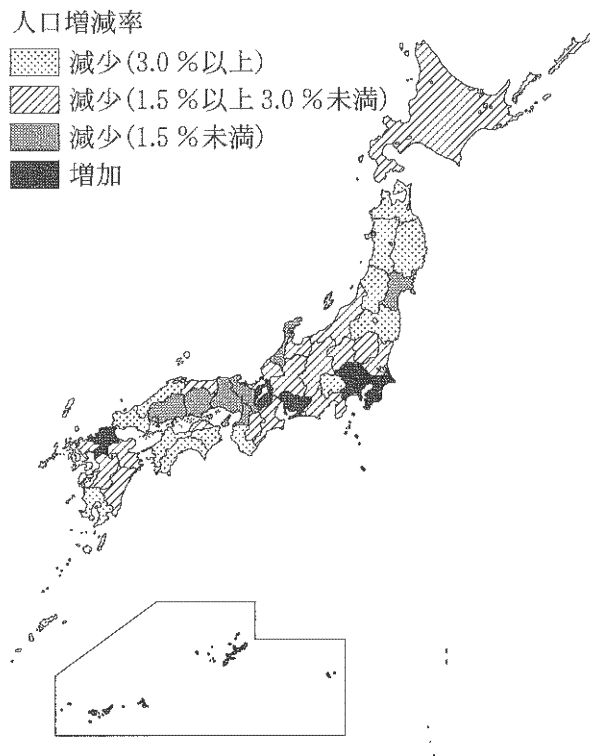


図 3—2

国勢調査による。

- (1) 図 3—1 の A, B, C, D は、埼玉県、沖縄県、東京都、福岡県のいずれかである。それぞれの都県名を、A—○のように答えなさい。
- (2) 図 3—2 で、山梨県と和歌山県では、周囲の都府県と比べて、人口減少率が相対的に大きくなっている。これらの 2 県で、そのようになった共通の理由として考えられることを、下の語群の中から適当な用語 2 つ以上を用いて、2 行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。
- (3) 図 3—2 において、沖縄県と北海道を除く地方圏について、人口減少率の大小を比較すると、①全国的には、北関東などの三大都市圏に近い県では人口減少率が相対的に小さく、北東北や四国などの遠い県では人口減少率が大きくなること、②同じ地方ブロック内でも、県によって人口減少率に差異があることの 2 点がみとれる。これらの点が生じた理由として考えられることを、下の語群の中から適当な用語 2 つ以上を用いて、あわせて 3 行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

語 群

移動	距離	過疎化	広域中心	工業化
高速交通	地形	都市規模	農村	半島

# 強者の戦略

設問 B 図 3-3 は、日本の 3 つの地方都市、鹿児島、広島、金沢における地表起伏を陰影で、また、人口集中地区の範囲(2015 年現在)をドットで示した地図である。地図には各都市の主要な城跡の位置も示しているが、それぞれの都市域は、この城跡の付近から拡大し始めたと考えられる。

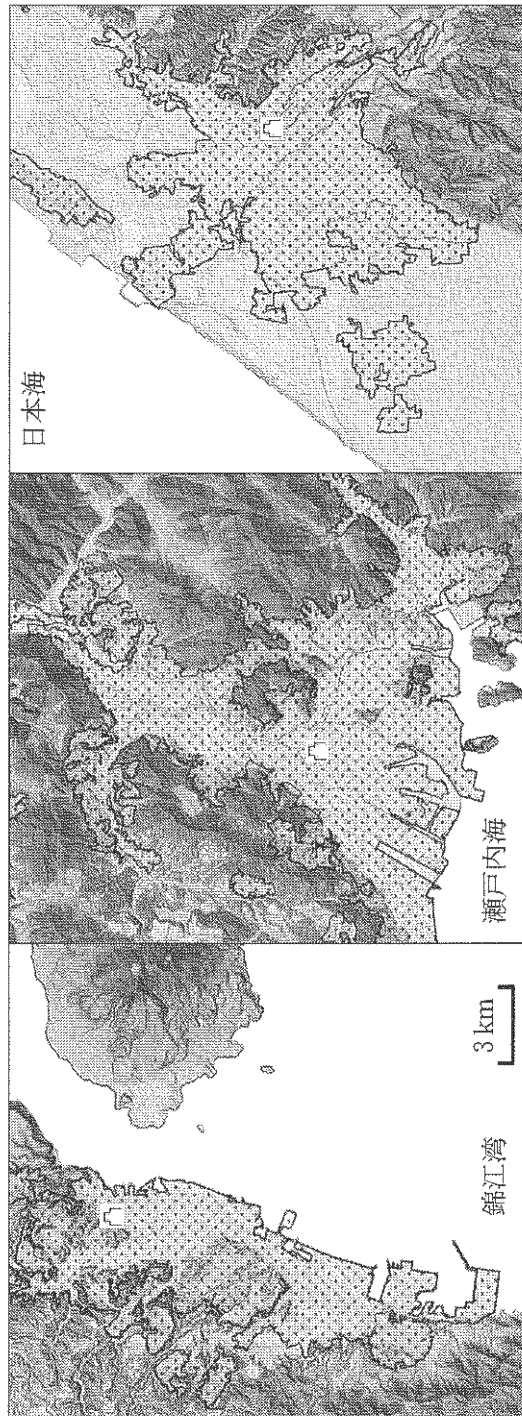


図 3—3

地理院地図による。  
縮尺は全て共通。

# 強者の戦略

- (1) これら3つの都市で、当初の都市域の場所と、その後、拡大していった場所の地形条件を、各都市についてそれぞれ1行で述べなさい。
- (2) 広島と鹿児島において、都市域の拡大によって増大した自然災害のリスクのうち、両都市で共通するものを2つ挙げ、その特徴をあわせて2行以内で述べなさい。

設問C TさんとUさんは、それぞれ家族4人で地方に住んでいるが、転勤のため4月からある大都市に引っ越すことになった。2人の会話を読み、以下の問いに答えなさい。

Tさん：「引っ越しの時期が近づいてきましたね。Uさんは4月から住む場所はもう決めましたか？」

Uさん：「いま探しているところです。Tさんはどの辺りに住みたいと思っていますか？」

Tさん：「わたしは都心のターミナル駅や繁華街の周辺に憧れたりするのですが、家賃が高くてなかなか住めないですね。」

Uさん：「そうですね。都心はデパートや専門店、劇場なども多くあって便利だけれど、家賃を考えると部屋を借りるのはちょっと大変ですね。」

Tさん：「都心から電車で20分ぐらい離れた場所は、通勤や通学にも便利でいいですかね？ それでもまだ家賃は高そうですね。」

Uさん：「都心からさらに離れた郊外に住むということも考えられますね。」

Tさん：「あと、家から最寄り駅までの移動を考えると、駅からあまり遠くない方がいいですね。」

Uさん：「それと、毎日の買い物のことを考えると、家の近くにスーパーマーケットや食料品店があると便利ですね。」

Tさん：「そうですね。都心のデパートに行ってる買い物と、近所のスーパーでする買い物は違うものですね。都心の繁華街の楽しさや便利さと、日常生活の暮らしやすさや便利さは、また別の種類のものかもしれないですね。」

Uさん：「そういえば、このようなことを地理の授業で習った記憶がありますね。身近な話題でもあるんですね。」

- (1) 上記の会話で2人が話している内容をふまえて、大都市の土地利用と生活圏との関係を、以下の語句をすべて用いて、3行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所に下線を引くこと。

地価                      生鮮食品                      中心業務地区

- (2) 大都市での日常の買い物についてみた場合、かつてはその利便性が確保されていたにもかかわらず、最近では、居住者が日用品の購入に不便や困難を感じるようになった地域も発生している。こうした地域が生じている理由について、2行以内で述べなさい。